

事務事業マネジメントシート (20年度実績と21年度計画)

21年度予算編成後平成 21 年 3 月 20 日 作成  
20年度決算把握後平成 21 年 6 月 20 日 作成

事務事業名		中小企業大学校受講費助成事業			<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	3	働く人々が輝き続けるまちづくり		所属部	産業振興部	課長名	米澤俊一
	施策	12	商工業の振興		所属課	商工振興課	担当者名	中嶋繁之
	基本事業	33	人材の確保		所属班	商工・企業誘致班	(内線)	1253
					法令根拠			

予算科目	会計	款	項	目	事業連番	<input type="checkbox"/> 20年度で終了	<input type="checkbox"/> 21年度から開始	成果優先度評価結果	9
	1	7	1	2	10303			コスト削減優先度評価結果	6
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		<input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 平成18 年度)		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)				

事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】  
後継者育成と専門技術取得のための中小企業研修派遣に対し、中小企業大学校に入学する際の受講料2/3を助成する。  
【業務の流れ】  
申請受付、交付決定、支払、実績報告  
【主な予算費目】  
補助金

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		
① 手段(主な活動)	20年度実績(20年度に行った主な活動)(DO)	21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN)
	受講者なしのため実績なし。	平成20年度は受講者なしのため、市広報や市HPに掲載や商工会からも会員、非会員への周知を行なってもらい周知徹底を図る。
		⑤活動指標(事務事業の活動量を表す指標)=①の指標 (単位) ア 申請受付、交付決定、支払、実績報告 H イ
② 対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	中小企業大学校受講者	⑥対象指標(対象の大きさを表す指標)=②の指標 (単位) ア 中小企業大学校受講者数 人 イ
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	中小企業者が専門的な研修を受けることにより経営の健全化が図られる。	⑦成果指標(意図の達成度を表す指標)=③の指標 (単位) ア 合志市からの中小企業者大学校受講者数 人 イ
④ 上位の目的(さらにどんな目的に結び付けるのか)	人材が確保されている。	⑧上位成果指標(上位目的の達成度を表す指標)=④の指標 (単位) ア 市内製造業の従業員者数 人 イ 商業就業者数 人

(2) 総事業費・指標等の推移

		単位	18年度 実績(決算)	19年度 実績(決算)	20年度 目標(当初予算)	20年度 実績(決算)	21年度 目標(当初予算)	22年度 (目標)	23年度 (予定)	全体計画 ~ 年度	
投入量	事業費	国庫支出金	千円							総 ト ー タ ル コ ス ト  (期間 限定 複数 年度 の み 記 載)  目 標 合 計 数 計 画  22 年 度	
		都道府県支出金	千円								
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	91	327	315	0	315	315		315
	(A) 事業費計	千円	91	327	315	0	315	315	315		
	うち指定経費	千円									
	うち時間外、特殊勤務手当	千円									
	人件費										
正規職員従事人数	人	1	2	3	0	1	1	1			
延べ業務時間	時間	50	75	120	0	100	100	100			
(B)人件費計	千円	199	299	478	0	398	398	398			
トータルコスト(A)+(B)	千円	290	626	793	0	713	713	713			
活動指標	ア イ	H	20	75	120	0	100	100	100		
対象指標	ア イ	人	1057	1100	1150		1200	1200	1200		
成果指標	ア イ	人	4	17	20	0	20	20	20		
上位成果指標	ア イ	人	4683 2187	4767 2199	5010 2077		5015 2077	5020 2077	5020 2077		

(3) 事務事業の環境変化・住民意見等

① この事務事業を開始したきっかけは何か?いつ頃どんな経緯で開始されたのか?  
中小企業大学校入吉校開校に伴い、市町村の取組みが始まった。

② 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?  
受講者は近年横ばいで、年3~4人程度の受講であったが、平成19年度は17名の受講があった。しかし、平成20年度においては受講者はいなかった。

③ この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?  
受講者から受講料の補助(2/3)があり、受講しやすいとの意見があった。

事務事業名	中小企業大学校受講費助成事業	所属部	産業振興部	所属課	商工振興課
-------	----------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \*原則は20年度の事後評価、ただし複数年度事業は20年度における途中評価

目的 妥当性 評価	①政策体系との整合性 この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】⇒ 中小企業大学校受講者が専門的な研修を受けることにより、経営の健全化・スリム化・高度化が図られ、より高い売上げが得られることに結びついている。
	②公共関与の妥当性 なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】⇒ 起業家向けカリキュラムもあり、全市民が対象となっているので妥当である。
	③対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか？意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】⇒ 対象、意図とも現状で適切である。
有効性 評価	④成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】⇒ 中小企業者に広く周知するための方法を検討する余地がある。
	⑤廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】⇒ 21年度計画(21年度に計画している主な活動)(PLAN) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】⇒ 受講料の補助制度が廃止されると企業又は社員の負担での受講は減少すると思われる。また、そのことにより専門的知識及び最新知識を得る機会を失うことになる。
	⑥類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ⇒(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】⇒ ふるさと創生基金による人材育成支援事業との連携。 <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】⇒
効率性 評価	⑦事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ 補助率の見直しにより削減の余地はある。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】⇒ ふるさと創生基金による人材育成支援事業との連携がある場合は、主管事務が変わるので削減の余地がある。
公平性 評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】⇒ ⇒3評価結果の総括(SEE)に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】⇒ 起業家向けカリキュラムもあり、全市民が対象となっているので妥当である。

3 評価結果の総括(SEE)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性については、中小企業者に広く周知するための方法を検討する余地がある。 ③効率性については、補助率の見直しにより削減の余地はある。また、ふるさと創生基金による人材育成支援事業との連携がある場合は、主管事務が変わるので削減の余地がある。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) 中小企業者が専門的な研修を受けることは必要であるが、人材育成の面ではふるさと創生基金での対応も検討。	(2) 改革・改善による期待成果(廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上	○			維持					低下			
		コスト																							
		削減	維持	増加																					
成果	向上	○																							
	維持																								
	低下																								

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策  
今後、人材育成の面からは、ふるさと創生基金との連携の協議が必要だが、支出項目等の再検討が必要である。

5 事務事業貢献度評価結果(施策の統括課長の総括)

(1) 目的の直結度	9	( 直結度高い 1~3 直結度中 4~6 直結度低い 7~9 )
(2) 貢献度	12	( 貢献度高い 1~3 貢献度中 4~9 貢献度低い 10~12 )